

愛知医科大学病院を受診されていた患者さんのご家族の方へ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	免疫チェックポイント阻害剤治療による免疫関連有害事象(irAE)の特徴と予後との関連についての観察研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	臨床腫瘍センター
研究責任者	講師 岩田崇
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	免疫チェックポイント阻害剤治療による免疫関連有害事象(irAE)の特徴と予後との関連について調査します
対象となる患者さん	2017年1月～2020年12月にPD-1阻害薬であるニボルマブ、ペムブロリズマブ、PD-L1阻害薬であるアテゾリズマブ、デュルバルマブを受けた患者さんを対象としています
研究の方法	免疫チェックポイント阻害薬による副作用を発症された患者さんにおける特徴を解析し、副作用の危険・予測因子を探索します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2026年03月31日
研究に用いる試料・情報	診察所見、治療内容、CTやMRIなどの画像データ、腫瘍マーカーなどの血液検査、尿検査、心電図、呼吸機能検査、病理学検査、腫瘍遺伝子検査などのデータ 無増悪生存期間(PFS)、全生存期間(OS)など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年8月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	既の実施済みの診療情報から、お名前、住所など個人を特定できる情報を削除して解析を行います。結果を学会や論文などに発表することがありますが、患者さんを特定できる個人情報を公開することはありません。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 薬剤部 担当者:薬剤師 江尻将之

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311(内線 34048)